



2009/12/19 平成21年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会
Match Result



試合番号 **606** **A 試合会場レポート**

■会場 東京体育館(東京渋谷区) 試合開始: 14:40 試合時間 1:40
観客数 3,500 主審: 北村 友香 副審: 大塚 達也



久光製薬スプリングス

■監督: 濱田 義弘
■コーチ: 大東 雅史

■第1セット出場メンバー

22 石田	11 オリウエイ	4 先野
12 (筒井)		
9 平井	3 原	1 石井
	2 (古藤)	

()内は交代選手
■リベロ: 10 佐野 優子

得点	セット時間	得点
25	1set(26')	22
25	2set(21')	15
23	3set(23')	25
25	4set(21')	16



東九州龍谷高等学校

■監督: 相原 昇
■コーチ: 大木 正彦

■第1セット出場メンバー

6 衛藤	7 鍋谷	4 栄
14 (宇田)		11 (中筋)
1 長岡	5 村田	2 芥川
12 (比金)		

()内は交代選手
■リベロ: 9 筒井 さやか

98	Total	78
3	セット数	1

■Match Comment

今話題の東九州龍谷高等学校対昨シーズンVリーグの覇者久光製薬スプリングスの試合。報道陣も大勢駆けつけ、その行方に注目が集まっている。

一進一退の攻防に会場は沸いた。東龍高校のセッター栄のトスワークに翻弄される久光製薬。が、最後はテクニックとパワーでねじ伏せ、追いつがる東龍高校を突き放した。その後も久光製薬の高いブロックに苦しめられ、東龍高校は主導権を取ることができない。しかし、3セット目粘りを見せた東龍高校は、中盤に追いつきとうとう主導権を握り、このセットを奪う。東龍高校の長岡、鍋谷らのすばらしいプレーに会場は沸いた。しかしその実力差は埋まらず、久光製薬が勝利を手に入れた。

■Coach Comment: 濱田 義弘(久光製薬スプリングス)

プレミアのチームに2回勝って、勢いがある東龍だったので、すこし雰囲気飲まれて自分達のバレーが出来なかった。

連戦で選手達にも疲労もたまっていると思うが、残りの一試合を自分達の力を信じて勝ちたいと思います。

本日はご声援ありがとうございました。

■Coach Comment: 相原 昇(東九州龍谷高等学校)

1セットを取ることができて、最高の戦いが出来た。

選手達にとって、私自身にとって一生忘れられない大会になりました。スピードとテクニックが通用したのでさらに磨いていきたい。

■作成者: 柴田 等

※ 本票の著作権は財団法人日本バレーボール協会に帰属します。